

# 自閉症とコロナ

－ 自閉症のある人と家族への新型コロナウイルス(COVID-19)の影響と今後 －

\*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。<承認期間:2017年7月1日~2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 間:2021年11月6日(土)・10日(水)のいずれかのご希望日

※ご希望日を必ず通信欄にご記入・ご入力ください

受講対象:自閉症や特別支援教育に携わる先生方、学校関係者のほか、保育・相談に関わる専門職、保護者、および興味のある方々

申込期限:2021年10月29日(金)(お申込みは先着順となりますが、期限前に募集を終了する場合がございます)

受講料:6,500円(税込み)

配信方法:『Cisco Webex』を使用し、配信 ※事前承認制です

本講座は事前にビデオ収録し、当日オンラインで配信する講座です

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

東京都豊島区高田3-19-10

☆☆☆ 企画講師 ☆☆☆ 渡部 匡隆 先生 横浜国立大学大学院教育学研究科 教授

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、自閉症のある人と家族、支援現場にさまざまな影響をもたらしています。そして、今後も予断を許さない状況となっています。そこで、第1回目の緊急事態宣言が出され1年半が経過しようとしている現在、あらためて自閉症と新型コロナウイルスについて考えてみたいと思います。

当たり前の日常に大きな制限が生じたとき、自閉症のある人にどのような影響が生じているのか、家庭や家族にどのような影響が生じたのか、一斉休業から段階的緩和、そして、通常へと目まぐるしく対応が変化せざるをえない状況で学校はどのように取り組んだのか、支援の選択肢が制限される中で強度行動障害のある人を支援する福祉施設はどのように取り組んだのか、それら取り組みやご苦労、そして課題や留意すべきことについて共有することが、これからの「感染症の時代」に向き合っていくために不可欠と考えています。

今回の集中講座では医療、家庭、教育、福祉の最前線で、直面する課題に中心となって取り組んでこられた方々を講師としてお迎えすることができました。講師のお話を手がかり、受講される皆様お一人お一人がそれぞれの現場で取り組まれたご実践を振り返り、with コロナ、post コロナといわれ新しい生活様式が求められる中で、自閉症のある人と家族の安寧な生活を実現していくための支援について一緒に考えていきたいと思っています。 【渡部 匡隆】

## <プログラム>

	時 間	テ ー マ	講 師
各 日	12:50頃～	オンライン講座の事前案内	
	13:00～14:00	自閉症のある人への新型コロナの影響と 基本的に留意したいこと	信州大学医学部 教授 本田 秀夫
	14:10～15:10	家庭への影響と取組み、留意したいこと	東京都自閉症協会 理事長 杉山 雅治
			東京都自閉症協会 副理事長 尾崎 ミオ
			横浜国立大学大学院教育学研究科 教授 渡部 匡隆
	15:20～16:50	福祉現場への影響と取組み、留意したいこと	社会福祉法人靖和会 ラシーネ西東京 施設長 平 雅夫
17:00～18:00	学校生活への影響と取組み ～安心・安全な学校づくり～	前神奈川県立鶴見養護学校長 井出 和夫	

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。